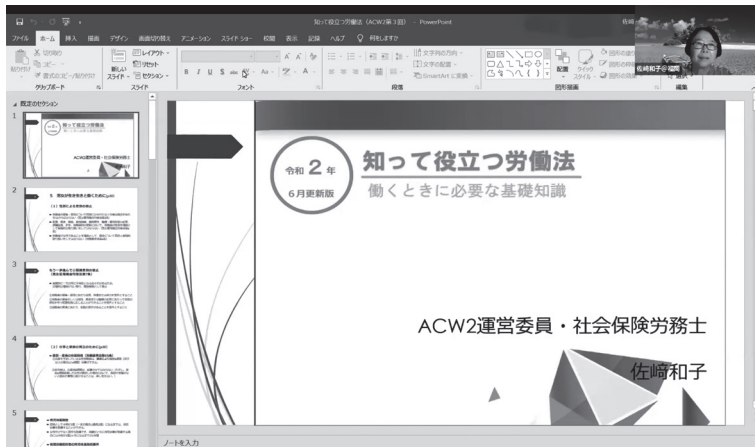




特集  
臨時大会、その後



もくじ

- 02 | 臨時大会、その後 ゆっくり無理せずやっています
- 05 | 臨時大会、その後 母も祖母も働く女だった。そして私も。
- 06 | 最近ぐっときた3冊
- 08 | 知って役立つ労働法 「労働法講座」に参加して
- 09 | 知って役立つ労働法 労働法講座を受講して
- 09 | 知って役立つ労働法 労働法講座(第2回)に参加して
- 10 | かもす講座 デビュー
- 11 | 私の人生表
- 12 | 元気がでると私が思う本を紹介したい
- 13 | 等身大のグレタさんの姿を描く注目作! 「アスペルガー症候群は私の誇り」
- 14 | 活動報告
- 15 | 本出しました!
- 16 | 編集後記

## 臨時大会、その後

# ゆっくり無理せずやっています

佐野ひびき

2021年8月7日(土)14:00より臨時大会をオンラインにて開催し、34名の方が参加しました。はじめに共同代表の伊藤みどりさんが挨拶をし、代表を降りて、今後はホームヘルパー国賠訴訟裁判や自身の労働問題に取り組み、ACW2の一会員として活動することを伝えました。そしてリーダーがたくさんいる組織、サポートフルな組織への転換を希望しました。

■結論としては、

- 運営委員会方式から、小グループで決定権を持つソシオクラシー型組織への変更を試行的にやってみる。必要な時は、各グループの世話人が集まって会議を開く。
- 重要な仕事から先に小グループを作って、少しずつ増やしていく。
- 会員のニーズを聴きながら試行する。うまくいかなこと失敗することもあるかもしれないが、その都度改善していく。

### 臨時大会の時に提案した小グループ案

運営系小グループ	事業系小グループ	会員相互交流グループ
<b>連絡調整</b> 各グループの連絡調整・zoom 使用管理・事務所整理・鍵の管理	<b>ホットライン</b>	会員の申し出による。いくつあってもよい、全員が選べるように増やしていく。 10人以内めど。グループの活動報告を定期的に。
<b>会員ニーズ</b> 分析と会員へのアウトリーチ・ 会員アンケート・会員の活動をサポート	<b>共育トレーニング</b>	<b>読書会</b>
<b>会計</b> 決算・入金出金・会員名簿管理・ 販売集金・会費請求	<b>相談員トレーニング</b>	<b>性と私を語る会</b>
<b>財政健全化</b> 財政分析の依頼 助成金・ 寄付・法人化検討	<b>かもす講座などの 開催と教材づくり</b>	<b>ちまちま手芸の会</b>
<b>広報</b> 広報・ホームページ・FB・ Twitter・かもす通信	<b>関わり方提示グループ</b>	<b>歩く会(休会)</b>
<b>ITサポート</b> 業務の見える化・共有化・構築	<b>規約改定グループ</b>	⋮
	<b>ミッション小グループ</b>	

- 必須の仕事には、予算のゆるすかぎり対価を払う。
- 予算：人件費 12 月まで 50 万。どのように支払うかは会計グループで検討して支払い方法を提案する。予備費で財政再建計画を立て支払う。交通費は別枠。
- 次の定期大会で、規約も含めて見直す。  
となりました。

下の左図が、臨時大会で提案した小グループ案です。右図は、現在動いている小グループです。これは決定ではなく、やりながらグループを分けたり、くっつけたり、あらたに作ったり軌道修正していきます。ACW2 で必要な仕事をリスト化してもらった表を 4 ページに載せました。これならやれるという方がいましたら office@acw2.org 宛にぜひメールをください。

会員相互交流グループは、したいと思い立ったらチャレンジできます。会員 ML へ投稿して一緒にやりたい人を募ったり、知り合いの方に声をかけて作ることができます。zoom が必要でしたら、ACW2 の ID が使えますのでメールください。他のグループと被らないように日程を調整して利用することができます。

### 現在活動している、あるいは準備中の小グループ

運営系小グループ	事業系小グループ	会員相互交流グループ
連絡調整	ホットライン当番	読書会
台東区班(仮称) 事務所のチェック・整理	対面相談グループ 相談をユニオンにつなぐ前に対面	性と私を語る会
財政健全化	共育小グループ(準) かもす講座開催と続編作り	ちまちま手芸の会
会計・会員管理	相談員トレーニング	ひとり小グループ (準備中)
かもす通信	労働法講座	100年ビジョンを 朗読する会(準備中)
⋮	⋮	歩く会(休会)
		グループを作りたい方は、会 員MLで呼びかけてください。

意見交換で出た声を少し紹介します。

- 小グループの必ずどこかに入るのは理想だが、むつかしい。会員交流グループがこれからできていくといい。
- ACW2 をプラットフォームにして、自分のやりたいことをやるための小グループにしてほしい。
- 地域で会える範囲で小グループを作る？ 仕事の産別、労働形態別もあり？ 独身とか。
- この指とまれ方式。
- 事務や運営を小グループにするのは、リスクがあるので議論の余地がある。が、初めての試みなのでやるしかない。
- 生き延びているだけでいいのが ACW2。
- 私はひとり小グループをやりたい。チャットシステム、掲示板を使った ACW2 ファンサイトの恒常的な場をつくりたい。
- 100年ビジョンを朗読する会をやりたい。(2020年のウィメンズマーチ [中止] で朗読したかった)。
- 「かもすブック」の続編を作りたい。
- 規約改定のグループも必要。

どんな状況にあっても、どんな属性を持っていても、互いが違ったままで誰もが生きやすい社会を作りたい。一人じゃ太刀打ちできないけど、関わりを増やしていけばそう簡単に倒れないですむと思う。会員でいるだけで、かもす通信を読むだけで十分関わっている。ACW2 の財産です。

ACW2業務 棚卸し	
会計管理	1 会計のデータ入力(入出金)
	2 会計のデータ出力と報告
	3 会費未納入者チェックと催促
	4 月払いの支払い・振り込み
会計健全化	5 カンパ・会費入金確認
	6 カンパへのお礼ハガキ郵送
	7 ギブワンからの入金確認・報告
会員管理	8 入会・退会届の確認と報告
	9 入会・退会者へのメール返信
	10 入会・退会: 会員名簿更新
	11 新規会員への配布物郵送
	12 入会・退会者のML登録・削除
広報	13 かもすブックレット・いのちパンフ販売
	14 映画の貸し出し
	15 ホームページ管理
	16 FB、Twitterへの投稿、管理
	17 ギブワン更新手続き
事務所管理	18 電話対応(留守番電話)
	19 郵便物確認
	20 事務所整理・ファイリング
	21 消耗品チェックと注文・受領
ホットライン	22 電話相談の相談員配置
	23 フリーダイアルの割り振り
	24 電話相談の状況まとめ
	25 ホットラインの振り返りの会
相対	26 相談員トレーニング
通信	27 かもす通信制作
	28 かもす通信印刷・宛名出力・封入
講座	29 かもす講座
未整理	30 問い合わせへのメール対応
	31 Yahooのアカウント管理?
	32 WAN/労働新聞メルマガ転送
	33 大会議事録作成・ACW2会員MLに報告
	34 運営委員会議題作成
	35 運営委員会主催
	36 会員アンケート実施
	37 分科会活動
	38 収入がみこめる活動を考える(例: 連続講座)

## 臨時大会、その後

---

# 母も祖母も働く女だった。そして私も。

渡辺律子

佐野さんから「かもす通信」に何か書いてみませんかとお誘いをうけ、ほいほい快諾したものの今年の猛暑は殊の外辛く、自分の加齢をいやという程感じさせられ、そこにワクチン接種の副反応が加わったのも打撃だった。で、失念。皆さんの夏はどうだったのだろうか？

「女性ユニオン東京」に仲間のDV被害者の就業先でのパワハラ被害の相談をしてからだから、ACW2との付き合いは発足時から。けれどもいつも「かもす通信」を楽しみに読むだけの会員。最近では読書会参加を楽しみにしているだけのぐうたら会員だ。

私自身は団塊世代のしっぽで、約90%の女性が専業主婦を選ぶという皆婚時代に、働いて一人で生きていきたいと決心し1973年に本郷の中小出版社に職を得て、ウーマンリブと呼ばれた運動のなかに飛び込んだ。「Ms ジャーナル」というタブロイド判の新聞を発行する仲間に加わって集会を取材したり、新宿御苑近くにあった「ホーキ星」でだべったり、国際婦人年をきっかけに行動する女たちの会の労働分科会で、私たちの望む女男雇用平等法ガイドラインづくりなどの隅っこに関わった。郷里の女たちの中ではいつも陰口の対象になったり、浮いてしまい、女とつるむということが大の苦手であった私も、リブ仲間の中では思ったことを口にできる気持ちよさを満喫してミソジニーに落ち込まなくて済んだ。

紆余曲折あり、60代になってACW2と出会ったころは(労働しないと生きていけないので仕事はしていたが)、現役というには面はゆい心境で、現在の新自由主義社会の中で生きづらさを抱えて苦しんでいる若い世代の女性たちには顔向けできない想いで自分から心に距離を置いていた。「ぼーっとして生きててごめんなさい。こんな社会にできてしまって大人の女として不甲斐ない！」と恥じてカーテンの陰に隠れたい気分だった。

1993年から民間のDV被害者支援団体の一員としてシェルター管理人をしたり、その後の人生を模索する被害女性のサポートグループのファシリテーターを務めながら、若年世代の話聞く機会も多く、非婚の子育てで手一杯で、「行動する女たちの会」にも足が遠のいてしまっていた80年代の自分を罵りたい気分です。

読書会は本好きが高じて編集者になった私には、わくわく楽しい集まりだが、本道を担わず

良いとこどりする後ろめたさはある、贖罪のように 2019 年あたりから定期大会にそっと参加した。今回も臨時大会にオンライン参加して ACW2 の大胆に未来を信じ、乗り越えようとする破天荒な決定というか、追い詰められたものの底力のようなものを感じ、多少の不安とフリーライダーとしての自責感も含みつつ、愉快的解放感を満腔で感じていた。

何だか温かくて、懐かしい 70 年代ウーマンリブの仲間という時のような幸せな気分似ていることに密かに驚きながら、思わず頬の緩んだ私がいた。

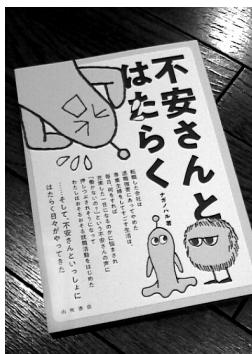
私が生涯仕事をして生きて行こうと決めた原点には、小学校低学年での性被害体験が影を落としている。女であることに違和感が大きかった。そのうえ ADHD の傾向もある。この障害は実に女に向かない。ケア役割を刻印された性でありながら、ケアが苦手なのだから。へんてこなお洒落が好きで、ちゃらちゃらしてて碌でもない、こんな私のような女が堂々とこのうと生きられる社会が、もうそこまで来ると信じたいなあ！ さて、今年も「むらさきロード・パレード」やります。11・23 表参道。大きな声でフェミ道を叫ぶぞ！

---

## 最近ぐっときた3冊

小園弥生

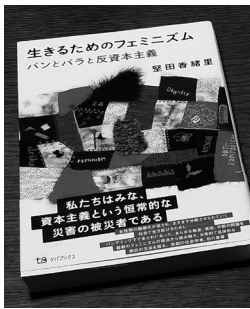
最近ぐっときた 3 冊は、ACW2 のなかまの本でした。



### 『不安さんとはたらく』 ナガノハル

漫画とエッセイがナガノさん全開で、「ぼやっと」な味わいがうれしー。ナガノさんはこの『かもす通信』(の名付け親でもありつつ)で漫画を連載していたけど、もともと表現者なんだと思う。でも、自分のことを書くのは鶴が羽を織り込むように大変なこと。働く、休む、ようでいて、描いて書いてはたらいっているのかな。

ウェブで連載されていた、お母さんとのことを書いた『100 万年生きた子ども』も本になるというのでキリンの首、鶴の首で待っている。敬服。

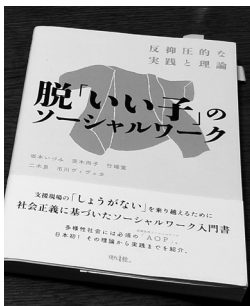


## 『生きるためのフェミニズム パンとバラと反資本主義』

堅田香緒里 (タバックス)

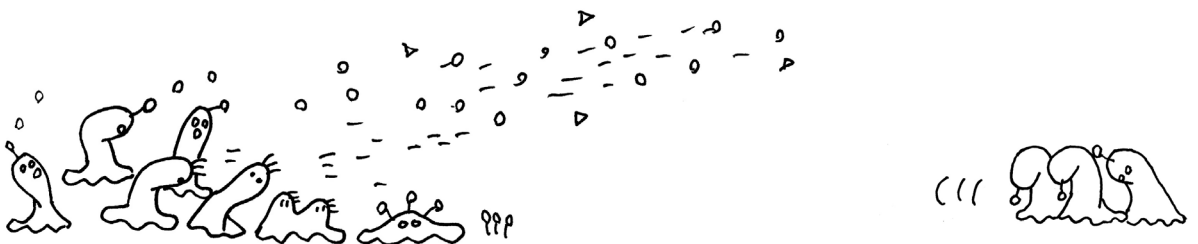
何年か前の ACW2 の大会で堅田さんの反「活」トークが際立っていた。高校生の時に横浜で一人暮らしをするようになって、寿町に行って女の人に出会ったという。黄金町というかつて青線だった町で働いていた人。「クレンジングされた町」と堅田さんは書いている。そうです。もはや目に見えない。けど見ようとすればかろうじてまだ見える。それらを記録する作業ありがたい。ないことになってしまうことごと。クレンジングされるものか。

表紙の魔女キルトは、手芸ユニット山姥の作品です。



## 『脱「いい子」のソーシャルワーク』 二木泉ほか (現代書館)

二木さんはカナダで研究をしながら、高齢者施設でレクリエーション担当として働いている。なんだか楽しそうだ。日本ではとてもストレスフルだったという。この本は AOP (反抑圧的ソーシャルワーク) を紹介している。日本の福祉現場には「しょうがない」がはびこる。矛盾だらけの現場をヒアリング調査した竹端レポートもおもしろかった。支援で有名な組織内部の不全にはこんな特徴が浮かび上がる。「方向性・速度・やる気のズレ」「職員の連携のなさ」「仕事や会議の非効率的運営」「職人芸の限界」「責任の不明確さ」「部下の育成と自己変革の失敗」「自ら伸びていくことの失敗」。でじゃぶー。



# 知って役立つ労働法—働くときに必要な基礎知識

佐崎和子さんを講師に労働法講座を開催しました。講義のあとグループに分かれて話すのを2セット、互いに疑問や経験を話し合っ理解を深めました。法的に正しくても実際に権利を主張すると不利になる。法律や権利の知識を後ろ盾に、いかにアサーティブに伝えるかという課題が表れました。これからも講座を企画します。こんな講座を受けたいという希望がありましたら ACW2 までご連絡ください。参加した方の中から3名の方から感想をご紹介します。

## 「労働法講座」に参加して

カナナ

ACW2 主催のオンライン労働法講座に参加しました。社労士で労働相談員も努めていらっしゃる佐崎和子さんが3回にわたって労働法についてわかりやすく講義してくださいました。労働法って難しくてよくわからない、そもそも法律と聞いただけでアレルギー気味の私の頭が少し整理されたような気がしています。コロナ禍で減給や解雇など、それでなくても大変な私たち女性はますます追い詰められています。講座では、実際の職場ではこういう問題が多いとか、こういうケースではこの条文をこんな風に適用できるなど、実際に相談を担当している佐崎さんならではの解説があり、具体的な場面についてイメージしながら理解することができました。

残念ながら突然解雇や不利益変更などに直面して、ショックで頭が真っ白になり、わけがわからないうちに、気がついたら希望しない状況に追い込まれて後悔だけが残るというケースも多いように思います。でも労働法の知識があればそれを抛り所にして、客観的に状況を認識した上で、権利を主張して少しでも良い結果を獲得できたり、残念ながら望むような結果が得られなかったとしても、自分なりにその結果を受け入れることができたとしたら、自分を責めたりせずに前に進んでいくことができるのではないかと思います。

また講座では小グループで感想や疑問を語り合う時間もあって、他の参加者とざっくばらんに語り合えたことは有意義な経験でした。ただ近頃いささか物忘れが激しいので、せっかく学んだことをちゃんと覚えていられるかどうか心配です。ちょっとおさらいしておこうかな。

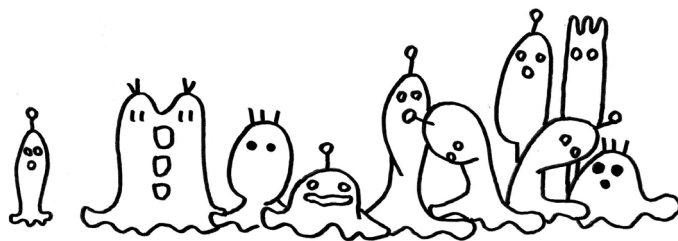
# 労働法講座を受講して

綾季

どうも初めまして。つい最近 acw2 会員になりました綾季と申します。

佐崎和子講師の労働法講座に参加して、労働法の仕組みについて体系的に学べたり、他の皆さんの体験談や現状なども聞く事が出来た事によって、だいぶ心強い気持ちになれた気がします。

佐崎講師の分かりやすくて親身な姿勢での解説は、とても受け入れ易かったです。不安定就労で、派遣切りやパワハラまがいの扱いを受けた事に悩んだ経験のある私ですが、こちらの立場に立った的確かつ良心的なアドバイスを頂けた事で精神的にも楽になれた気がします。過去は変えられませんが、ここで得られた知識や経験を糧にして、これからの生活に生かしていけたらと思っています。



## 労働法講座(第2回)に参加して

ふう

労働法講座 8月21日の第2回オンライン講座に参加しました。講座では、「働くときのルール」として、賃金、労働時間と休憩・休日、安全で快適な職場環境(ハラスメント等)について学びました。労働法については何となく知っているつもりของが多、また自分の経験の範囲の中での知識しか無かったので、具体的に法律に照らし合わせてのお話はとても役に立ちました。佐崎さんのお話は分かりやすく、またグループの方たちとの話も興味深く、楽しく学ぶことが出来ました。今、電話相談の修行中で、様々なお話を聴く機会がありますが、自分の思い込みだけで苦しんだり、悩んでいる方がたくさんいらっしゃいます。労働法の知識があれば、もう少し安心して働くことができると感じました。もちろん、知識だけでは解決出来ないことがあることも現実ですが。

---

# かもす講座 デビュー

青野 恵美子

昨年夏、「かもす講座」に初めて参加しました。コロナ下でオンライン開催となり、うまく交流できるのか不安でしたが、思いがけず心に残るひと時となりました。

「私の人生表」を使った3分間のスピーチが、その時の課題です。満足度を基準に、これまでの人生を振り返るとというのが目的でした。あくまでも肯定的に自分の人生を祝福するために。

過去の人生の出来事について、ふと振り返る時間はあっても、その思いを可視化することは初めての経験でした。さらに、それを他人に発表するのは、なんとも恥ずかしいことです。講座が始まる前に年代順に満足度を数値化し、「私の人生表」のモデル用紙にグラフをつくってみました。

結果は10代の頃の満足度が最も高く、年代が上がるにつれて数値が下がっていきます。自分でも意外な結果でした。10代の頃の自分を振り返るなんて、こんな機会でもない限り皆無だと思っていたからです。孤独でいきづらさを持って余し、行き場を失うような八方塞がりの日々でした。でも、こうして気軽な気持ちで「私の人生表」に向き合ってみると、当時を懐かしく感じている自分が居ました。

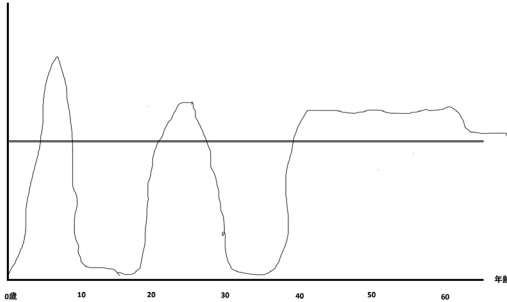
講座のなかで、この結果の理由について、他の参加者に3分間で説明しなくてはなりません。自問自答して見出した理由はこうです。「自分と向き合い、生きる場を探して、悩むことに没頭できたから」。すると、若い参加者の一人がチャット欄に次のようなコメントを書いてくれました。「時間・選択肢・自由のない人は、悩むことができない」。

社会人になってからの私は、悩むことから遠ざかっていたのかもしれませんが。コロナ禍でこの先の生活への閉塞感が募る今、ふたたび悩みの時間を必要としていることに気づきました。それには苦しみも伴いますが、10代の頃と違うのは、悩みを共有できる仲間が傍にいます。一緒に悩むことで、苦しみは半減できるだろうと願っています。

# 私の人生表

伊藤みどり

私の人生表



私は、長野県の諏訪市の諏訪湖の近くで生まれました。両親はとも戦争体験者で日本の植民地満州へ移住しそこから戦争体験をして戦後日本に引き揚げた人間でした。戦後7年目に生まれた私は、戦争を知らない子供として戦後の民主教育を受けてすくすく農村地域で育って来ました。今のような受験競争も無縁で学校から戻

ると暗くなるまで遊んでいました。当時としては珍しく父は電力会社の電気工事士、母も農協や近所の楽器工場で働く共稼ぎ家庭に育ちました。当時としては母親が働いているのはクラスでも3人くらいしかおらず、両親が働いていて家にいないことを良いことに同級生たちが我が家を遊び場として楽しく過ごしていました。また、両親は、とても進歩的で私に女らしさを押し付けることもなく育ったので自由にのびのび育ちました。

そんな幸運な幼少時を襲った人生初の困難は小学校4年の時に母が癌になった事でした。当時はまだ今のように治療法もない不治の病と言われた時代です。5歳年下の妹の保育園の送り迎えから母の通院の同行や家事など生活が一変しました。父方の親戚に預けられて、そこから学校に通った時期もありました。15歳の夏に母が他界し父はその現実を受け入れることができず高校生と小学生の妹を家に残したまま家に戻らずアルコールに溺れるような生活になり一家心中という言葉がよぎる暮らしでした。そんな異変に気がついた母の友人だった近所の方が、父親を悲しみから立ち直らせるために再婚させた方が良いとの勧めで父は再婚しました。父は、なんとか家に帰ってくるようになりましたが私にとっては亡き母の死のグリーフケアもできていないことで家に帰ることも苦痛になり高校卒業と同時に家を出て上京しました。その時、初めて工場労働を体験し現在につながる女性労働問題を私のライフワークにしたのです。その後は、御想像ください。「賃金と社会保障」という冊子に私の女性労働運動史を連載中です。

# 元気がでる(と私が思う)本を紹介したい

佐野ひびき

ニュース動画から「日本を再び世界の真ん中に」という言葉が聞こえてきました。

日本が再び世界の真ん中になると、何が解決するのだろうか？

日本が世界の真ん中になるって、具体的にどうなることを夢見ているのだろうか？

生きものや自然を置き去りにした高度経済成長やバブルを繰り返そうというの？

戦争で中国やアメリカに勝ちたいの？

私は、困難な状況に陥る人が増えている現状と、その言葉との大きなズレに困惑しました。

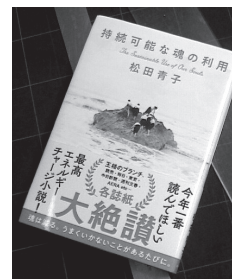
世界の指導者や政治家、企業家、富豪、芸能人、スポーツ選手など、富と権力を手に入れた人たちが、資産隠しや租税回避、マネーロンダリングした情報を記録した資料「パンドラ文書」がリークされました。

働きたくても労働の現場から排除されたり、入れたとしても不安定な雇用形態や、安い給料、下がる賃金、無償労働、長時間労働、性差別やハラスメントに耐え続けたり、自ら離れるしかなかったり。そして生活保護費は下がる。なのに一生使い切れないお金を持っている人たちの資産は積み上がる。こんな状況でもっと働けて、過剰な人間活動によって地球温暖化が進んで命が脅かされてしまう。私有財産にされた富を公共に戻しましょうよ。

でも私が1人つぶやいているだけでは、政治家や企業は痛くもない。

全部「おじさん」のせい——。

『持続可能な魂の利用』という小説で書かれている「おじさん」とは、年齢や性別に関わりなく、家父長制や男尊女卑の価値観を持っている人のことです。「おじさん」が作りあげ、維持している社会構造をなぎ倒す言葉の数々を読んで、私は元気がでました。特に、年齢や立場の違う女性たちが助け合っているところ。力を合わせてデモや裁判や応援をしたり、抗議の声をメールやFAXで届けたら、政治家や企業がやりたい放題できなくなる。「おじさん」の眼に見えるくらい社会通念が変われば、現実も変えられる！そんな勇気が出ました。



## 等身大のグレタさんの姿を描く注目作！

# 「アスペルガー症候群は私の誇り」

今井明子

コロナ禍で私たちの行動は阻まれ、ともすれば気持ちも沈みがちの今ですが、私たちに希望と勇気を与えてくれる映画のご紹介です。

映画は10月下旬から全国で上映。主人公は「気候変動策」を目指し世界中の人々を魅了したグレタさん。下記の紹介文はパンフ「グレタ」からの引用です。

〈グレタさんのこと〉



- \*グレタ・トゥーンベリー、16歳でノーベル平和賞候補
- \*強いメッセージと意志と行動力、グレタの運動が若者の色を変えた
- \*世界の首脳を相手に戦い、今、世界で最も影響力のある若き活動家



2018年8月。15歳の少女グレタはスウェーデンのストックホルムにある国会議事堂前で学校ストライキを始めた。気候変動対策を呼びかけるため、1人で座り込み、自作の看板を掲げてリーフレットを配りながら通行人の質問に答える。毎週金曜日にストライキをすることから「Friday for future」（未来のための金曜日）」と名付けられた運動は次第に注目を集め、

世界中の若者たちがグレタの考えに賛同。たった1人で始めたストライキは、数ヶ月のうちに国内外へ広がるムーブメントになった。

強いメッセージと行動力で、環境活動家のリーダーとして若者から熱烈な支持を得る一方で、反感や偏見を持たれることも少なくない。本作は、彼女の考えを最も正確に色濃く反映し、これまで誰も知ることができなかったグレタの素顔を知ることが出来る貴重な映像の記録。2020年のベネチア国際映画祭やトロント国際映画祭なので高く評価され、コロナ禍の世界20カ国以上で公開された。グレタは何のために戦うのか。私たちはパンデミック後の世界でその思いにどのように向き合い、生きるべきか。爽やかな余韻の中に深く思いをめぐらせること必至の感動のドキュメンタリー。



(注)アスペルガー症候群は、自閉症にみられる特徴(社会性発達の質的障害、興味や活動の偏りなど)を共通の類似点として持っています。自閉症では知的障害や言語発達に遅れを伴うことがありますが、アスペルガーは知的レベルは正常であり、言葉の発達に遅れはないことなどから、一見すると「ちょっと変わった人」程度に認識されることもあります。しかし、アスペルガー症候群の方が社会生活を送る際に困難さを伴う点においては自閉症と相違はなく、治療や支援を行うことはとても大切です。

# 活動報告

読書会グループの次の書籍は『ケアするのは誰か？ 新しい民主主義のかたちへ』（現代書館）となりました。参加人数を増やせないのので、読書会やりたい～という方は別の読書会グループを作ることができます。この指とまれ方式で会員 ML や個別に呼びかけて始めてみて下さい。

8月5日(木)	会計、ホットライン
8月7日(土)	臨時大会 34人？
8月8日(日)	ホットライン 福岡
8月10日(火)	ホットライン 東京
8月13日(木)	手芸の会 5人
8月15日(日)	ホットライン 福岡
8月19日(木)	読書会 『99%のフェミニズム宣言』 8人
8月20日(金)	会計、ホットライン 東京
8月21日(土)	第2回 労働法講座
8月22日(日)	ホットライン 福岡
8月25日(水)	ホットライン 大阪
8月30日(月)	ホットライン 新潟
8月31日(火)	会計



9月4日(土)	会計
9月5日(日)	ホットライン 福岡
9月10日(木)	ホットライン 東京
9月12日(日)	ホットライン 福岡
9月15日(水)	ホットライン 大阪
9月18日(土)	第3回 労働法講座、性と私を語る会4人
9月20日(月)	ホットライン
9月21日(火)	ホームヘルパー国賠訴訟&裁判報告会 50人
9月22日(水)	手芸の会
9月23日(木)	読書会 『99%のフェミニズム宣言』 9人
9月25日(土)	ホットライン 東京
9月26日(日)	ホットライン 福岡
9月28日(火)	同志社高校インタビュー 明治学院大学の講座の打ち合わせ 伊藤
9月30日(木)	会計、請求書つくり発送、ホットライン

10月24日(日)より月1回 共育小グループ(準)企画  
ACW2会員限定 小グループ活動を進めるための「かもすワークショップ」(全5回)開講  
ホットライン 毎月 5日、10日、15日、20日、25日、30日。第二、第四日曜がプラスです。

# 本出しました！

## ルポ コロナ禍で追いつめられる女性たち 深まる孤立と貧困

飯島裕子／著

女性不況、シャドウパンデミックなど、コロナ禍で女性に困難が集中しています。しかし、それらはずっと以前から存在していたものであり、コロナで顕在化したものに過ぎません。ルポでは、学校休校が決まった2020年2月にまで遡り、複数の女性たちの声に耳を傾けながら、コロナ禍が及ぼした困難と背景にある構造的問題についても掘り下げていきます。

伊藤みどりさんたちが裁判のために実施した「ホームヘルパーアンケート」や瀬山紀子さんたちが取り組んでいる非正規公務員問題など、ACW2会員の関わるグループも多く登場します。

ぜひご一読いただけましたら幸いです。(飯島裕子)



### 目次

- 第1章 シングルマザーを全方位から襲う困難
- 第2章 ステイホームできない女性たち
- 第3章 エッセンシャルワーカーの苦境
- 第4章 テレワークの明と暗
- 第5章 孤立する女性たち

### 著者プロフィール 飯島裕子(いじまゆうこ)

東京都生まれ。大学卒業後、専門紙記者等を経てノンフィクションライターに。著書に『ルポ 貧困女子』(岩波新書)、『ルポ 若者ホームレス』(ちくま新書)等がある。

■発売日：2021年9月15日 電子版あり。

■ISBN：978-4334045623

■本体価格：800円(税込み880円)

## 編集後記

■今号は、ACW2の運営を小さなグループに分けてから、はじめて発行するかもす通信でした。発行が遅くなってすみませんでした。途中で、ページがうまく収まらなかったらどうしようと不安にかられて、手が止まってしまいました。復活して振り返って見ると、私1人田んぼにいて、いくら苗を植えても、果てしなく続く水面をながめて、途方に暮れている感じでした(実家は農家)。ACW2だけでなく、私の人生はいつも「一人でやらなければならない」という声に責められていた気がします。でも原稿を書いてくださった方たちが、それぞれの思いや経験を表現してくれたおかげで豊かな誌面になりました。それぞれで書いたのに、話題が繋がっているように感じませんか。私はまったく計算していなかったのでもううれしくなりました。いま、かもす通信グループ(仮)人は私1人なので、相談しながら一緒にやってくれる方が2人くらいいるといいなあと思っています。関わってもいいよーという方はぜひ [tsushin@acw2.org](mailto:tsushin@acw2.org) へメールください！(さの)

**はたらく女性の全国ホットライン 0120-787-956**

毎月 **5・10・15・20・25・30日** と **第2～第4日曜日**

平日 | 18:00～21:00 土日祝 | 14:00～17:00

会員のあなたもぜひご利用ください。毎月**5日**は**セクハラ集中相談日**

住所 | 〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3階

TEL | 03-6803-0796 FAX | 03-6803-0726 e-mail | [office@acw2.org](mailto:office@acw2.org)

HP | <http://www.acw2.org/> Twitter | <https://twitter.com/acw2org>

正会員年会費 | (性自認女性) 1口 3,000円 オプション5,000円 または 10,000円  
生活困窮者2,000円

通信/サポート会員 | (男性も歓迎) 1口3,000円(何口でも可)

郵便振込 | 00130-1-669637

銀行口座 | 三井住友銀行 渋谷支店 普通8658522



感想など  
会員のおたよりを  
お待ちしております

本文600文字程度を目安に、[tsushin@acw2.org](mailto:tsushin@acw2.org) へてにメールにてお送りください。掲載までに時間がかかる場合があります。また、必ずしも掲載をお約束するものではありません。

※編集メンバーを募集中。連絡お待ちしております。

2021年10月発行 第52号 / 編集・発行 はたらく女性の全国センターACW2

ホームページ、ツイッター、会員メーリングリストで毎日情報更新中